

## Zero.1 Select シリーズ

対象製品

RK6305.21850.07 Zero.1 Select R129 スパークレッド ※レカロチャイルドセーフティ株式会社製あり(仕様違いのためサポート対象外)

RK6305.21849.07 Zero.1 Select R129 ディープブルー ※レカロチャイルドセーフティ株式会社製あり(仕様違いのためサポート対象外)

お問い合わせ内容	回答	参考資料No.
サンキャノピーの取り付け方がわかりません。	本体の取扱説明書P12～13に従い、お取付ください。また、イラストではわかりづらいとお考えのお客様の為に、Salia用ではありますが、取付に関する注意事項を記載した写真付きの解説資料をご提供できますので、そちらも併せてご確認くださいと存じます。(Zero.1に代用可能)	27
背面のカバーがめくれて、内部が露出します。	本体カバーは、その部分も含めて洗濯等のために外せる構造になっていますので、手で直すか、カバーの掛けなおしをいただきますようお願いいたします。 尚、多くの場合、不可抗力による背面中央部の白い樹脂プレートの外れや、サンキャノピーを取り付けた際に、端を本体パネルへしっかり押し込まず、スナップボタンのみで取り付けられたために、サンキャノピーを操作された際に、前方へ生地と共に動いたことが原因です。 カバーの着脱手順書やサンキャノピーの取付解説資料をご提供可能ですので、そちらも併せてご確認くださいと存じます。	27 33
後ろ向きに設置しているのですが、新生児期に使用するものにしては角度が立ちすぎているように思います。大丈夫でしょうか？	本製品は、主に後突事故の影響を考慮し、お子さまの背面部分を本体で確実に保持するために、ベッド型のような緩い角度を採用せず、イス型とさせていただきます。 後ろ向き時の角度は、インナークッションを装着し、リクライニング操作で最も寝た状態の場合、約40°ですが、リクライニング操作で稼働するのは内側のシェルのみであるため、外側の角度に変化はなく、それが視覚的に立っているように見える傾向にはあります。 また、製品を車両座席へ設置する際に、座席の背もたれと製品ベースの立ち上がり部の角度を合わせようとしすぎているため、サポートレッグを伸ばしすぎしまい、結果的に製品が立ちすぎしてしまうケースがございますので、そちらもご確認ください。	35
ベルトがねじれてしまい、反転または1回転しています。	お子さま向けに使用する製品であることを考慮し、差し込み金具のスリットを広くし操作性を向上を図ったり、お子さまに直接触れるため、若干柔らかい素材を使用していることから、使用初期段階でもベルトがねじれてしまうケースがございます。このような事象が発生した場合を想定し、復旧資料をご提供できますので、そちらの内容に従い復旧をお試ください。	01
内蔵ハーネスベルトが短く、バックルに差し込み金具が取り付けにくい。	ベルトの伸ばし方を取扱説明書等でご理解いただいていることを前提に、以下の事項をご確認ください。 1. 厚着になっていないか？ 2. 小さいお子さまの場合、おむつが膨れた状態で乗せになられていないか？ 3. ヘッドサポートの高さ位置は調整されているか？ 4. インナークッションが使用できる体格を超えているにも拘わらず、インナークッションを使用して乗せていないか？ 上記のうち、3については、操作されずベルトを伸ばされていることが多い事象です。本製品は、ヘッドサポート最下段の状態の販売しております。最下段の場合、新生児期のお子様の体格に応じた長さしかベルトが引き出せません。お子様の体格に合わせ、上段ヘッドサポートを引き上げていただくと、ベルトの肩口の高さも運動して上に位置し、その体格に応じた長さのベルトが引き出せますので、お試しください。	-
子供の頭部が前倒れます。	体格に応じた肩ベルト高さで乗車されていなかったり、必要でない体格にも拘わらずインナークッションを装着した状態で乗車されている可能性があります。 本製品は、お子様の体格に合わせ、上段ヘッドサポートを引き上げていただくと、ベルトの肩口の高さも運動して上に位置し、その体格に応じた長さのベルトが引き出せます。これが下段や体格に合わないインナークッションを装着されている場合、猫背のような丸まった状態で乗車されることとなり、ベルトが短く感じられたり前倒れているような姿勢になりますので、ヘッドサポート高さの調整やインナークッションを外すことをお試ください。	-
子どもがバックルを簡単に外す。または、大人の力でも外せないくらい硬い。	国連安全基準に従い、バックルの外れ力は約4～8kgで管理されていますので、硬く感じられるケースや成長著しいお子さまの場合は簡単に外されるケースはございます。この仕様はレカロ製品のみ適用されているものではございませんため、そのままご使用ください。ただし、使用過程で急に変化があった場合は、異物侵入の疑いもございますので、アルコール等でのふき取りをお試ください。	-
ISOFIXコネクタが車両座席の金具に届きません。	車両座席の形状によっては、取付金具の位置が上下/前後している場合がございます。また、座席の保護シートやマットなどを敷いてお取り付けいただく場合、その厚みの影響により、ISOFIXコネクタが所定位置へ届きにくくなる場合がございますので、保護シートやマットは取り外して設置ください。	-
ISOFIXコネクタが車両座席の金具にロックできない時がある。また、ロック/リリースできたとしても、インジケータ表示が不安定で、赤(緑)のままです。	ISOFIX解除ボタンが、本体の内側部品に引っ掛かっている可能性があります。このボタンは、2段階操作が必要ですが、1つずつ確実に操作せず、2つのボタンをほぼ同時操作された場合、偶発的に本体内部の部品にボタンの一部が挟まってしまい、結果としてロックやインジケータ表示が不安定になることがあります。この場合、お客様ご自身で復旧いただけるよう、復旧資料をご提供できますので、そちらをお試ください。	34
回転時に内装や窓と干渉するのですか？	ミニバンの2列目座席などに時折見られる「肘掛け固定タイプ」や、内装との距離が近い3ドア車両などについては、物理的に回転させることが不可能なため、適宜リスト上でも×としておりますが、スライド機能によって前席との空間が確保できるケースや、窓を開けることにより干渉を防げるケース、圧迫レベルで回転可能なケースについては、◎としている車両もございます。必要に応じて、車両側の操作や干渉対策もお願いします。	-
両サイドにあるグレーのフラップ(ASP)の目的は何ですか？	側面からの衝突が発生した場合の乗員保護が目的となります。窓側のフラップを開いていただくことにより、側面衝突時の安全性が増す効果があります。ただし、開かない場合(開き忘れ、窓への干渉による制限、中央席への設置など)でも安全基準に則ったテストには合格していますので、ご安心ください。	-
インナークッションを外すタイミングを教えてください。	お子さまの成長に合わせて段階的に取り外したり、組み替えることができます。身長60cmで量サイドのインナークッションは外せます。また、ヘッドパッドは、背面のインナークッションとスナップボタンで接続しており、2段階で位置を変えることが可能です。お子さまの体格に合わせて、スナップボタンの留め位置を変更(または外す)してください。尚、76cmですべてのインナークッションは取り外してください。(小数点以下切り捨てとさせていただきます。)	-
カバーを洗濯したいのですが、外し方がわかりません。	カバーの取付取り外しのための資料をご提供できますので、そちらをご確認いただき、着脱をお試ください。	33

**ラベル位置：座面裏側**

ラベル右上に○Aの印字あり。 ※レカロチャイルドセーフティ株式会社製のものには無い。

製品番号はRKから始まる。 ※レカロチャイルドセーフティ株式会社製のものRCから始まる。

